

MY1H Series ダストシールバンド交換要領

1 分解

- ヘッドカバーの片側2ヶ所、両側で合計4ヶ所の、止めねじを緩めます。
- エンドカバー固定用キャップボルト2本(4本)をはずしてエンドカバーを取外します。
- 反対側エンドカバーも同様に取外します。
- この状態でダストシールバンドを抜き出します。

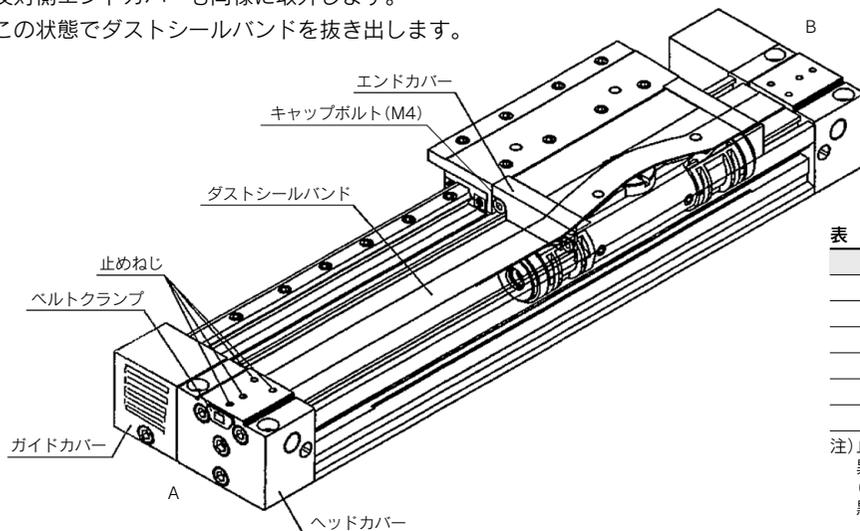


表 ダストシールバンド規格表

品番	推奨長さ
MY10-16B-st	st+110 ⁺² ₀
MY16-16B-st	st+160 ⁺² ₀
MY20-16B-st	st+200 ⁺² ₀
MY25-16B-st	st+182 ⁺² ₀
MY32-16B-st	st+228 ⁺² ₀
MY40-16B-st	st+272 ⁺² ₀

注) 止めねじの処理色によって品番が異なりますのでご確認ください。
 (φ16以上)
 黒色亜鉛クロメート→ MY※※-16B-ストローク
 ニッケルめっき→ MY※※-16BW-ストローク

2 組付

- 交換用ダストシールバンドは、ステンレス表面についているマスキングテープ(黒色)をはがし、あらかじめ図2の追加工を施したうえ、^{注1)}図1のとおり全体にグリースを塗布します。
- ^{注2)}交換用ダストシールバンドはスライドテーブル内をとおし、装着します。
- エンドカバー Ass'y下部とシリンダチューブ上面とのクリアランスが1mm程度になる様に、エンドカバーを調整し固定します。反対側も同様に固定します。(図3)
- ダストシールバンドのシリンダチューブよりのはみ出し量が、約10mmにダストシールバンド端面位置を揃えてヘッドカバー Ass'yに装着し、^{注3)}A側の止めねじ2ヶ所を締付けます。
- ダストシールバンドのたるみを除去するため、スライドテーブルを両ストロークエンドまで3・4回往復させてください。
- スライドテーブルを必ずB側ストローク端まで戻し、^{注4)}ダストシールバンドのはみ出し量が10mm以上あることを確認したうえ、^{注3)}ヘッドカバー Ass'yに装着し、B側の止めねじ2ヶ所を締付けて組立完了となります。

^{注1)}図1のように、グリースを均一に塗布してください。なお、グリースはリチウム石鹸系万能グリースをご使用ください。

^{注2)}ダストシールバンドを装着後、手でAとB方向に引っ張りぎみにし、シリンダチューブ溝にはめこんでください。(図4参照)

^{注3)}止めねじの締付けトルクは、0.1N・m(1kgf・cm)です。

^{注4)}ダストシールバンドに図2の追加工内のマジックがヘッドカバー Ass'y内にかくれていることを確認してください。



図1

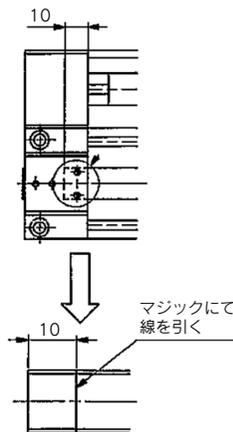


図2

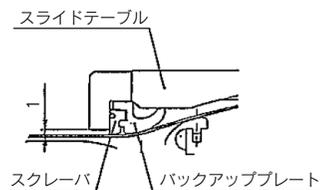


図3

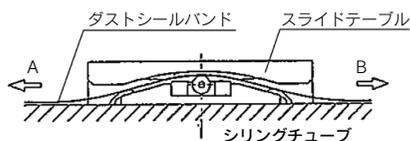


図4